

平成22年度 学校経営方針

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

めざす児童像

- やさしい子
美しいものに感動し、友達やまわりの人の心も考えながら、やさしさをことばや態度や表情であらわして生活できる子
- つくりだす子
自分でめあてをつくり、それに向けてよく見たり、聞いたり、考えたりしながら自力で問題を解決していく子
- たくましい子
自分の心と体を健康にするために、自分の生活を見直し、何事にもがんばる子

めざす教師像

- 基礎・基本の確実な習得と、生涯を通して生きる力を育てる教師
- なかよく助け合うことの大切さと、奉仕の心を感得させる教師
- 常に危機管理意識を持ち、子どもの安全管理・指導に努める教師
- 教育に対する情熱と豊かな発想を持ち、専門職としての識見と指導力を高める教師

本年度の重点目標

知・徳・体のバランスのとれた教育の推進による、「響き合える」児童の育成

確かな学力づくり	豊かな心づくり	健やかな体づくり
<ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業により、「確かな学力」を育成する ・少人数指導の充実と基礎・基本の定着 ・操作・体験活動、課題解決学習の重視 ・香川型教材の活用 ・各教科での言語活動の充実 ・読書活動の充実 ・外国語活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○自他を尊重する学級・学年集団づくりにより、「人権意識」を育成する ・人権意識を高める学級経営 ・自尊感情の育成と他者理解 ○体験を基盤としたかかわりにより、「豊かな心」を育成する ・体験的地域学習の展開 ・「道徳の日」の推進 ○特別支援教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力づくりや健康・安全教育の推進により、「健やかな心と体」を育成する ・基本的な生活習慣の確立 ・心身の健康づくり ・体験型の食育指導 ・運動能力の向上 ・安全管理能力の育成 ・危機管理の実践化

一人一人に自己存在感、自己肯定感をもたせる生徒指導

- ・カウンセリングマインドの心で児童理解に努め、個を生かす
- ・児童と教師、児童相互の人間関係づくりと心の居場所づくりに努める
- ・「古高っ子のちかい」をもとに、安全への自己意識を確立する
- ・問題行動・いじめの早期発見・早期対応に努める

家庭・地域との連携による信頼される学校づくり

- 積極的な情報発信と説明責任
- 保護者アンケートや学校関係者評価を取り入れた学校運営
- 地域コミュニティとの連携強化
- 安全体制づくり

- (1) わかる授業により「確かな学力」を育成する
 - ・指導内容に応じてTT指導や課題別・習熟度別の指導形態を工夫する少人数指導の充実に努め、基礎・基本の確実な定着を図る授業づくりに取り組む。
 - ・操作活動や体験活動を重視し、課題解決学習を積極的に取り入れることにより、思考力、判断力、表現力を育む。その基盤となる言語の能力の育成を目的として、国語科を中心に各教科において言語活動を位置づけて指導する。
 - ・香川型教材を用いた多様な指導法を工夫する。
 - ・朝の読書や読書月間の実施、学校図書館指導員や読書ボランティアの活用により、豊かな読書活動を推進するとともに読書環境の整備に努める。
 - ・高学年を中心に外国語活動の実践を通して授業モデルを構築する。

- (2) 自他を尊重する学級・学年集団づくりにより、「人権意識」を育成する
 - ・人権意識を高める学級経営に心がけ、支え合い、高め合う学習集団づくりを通して自尊感情を高める。
 - ・人権尊重の基本である他者理解を実践する意欲や態度を育てる。
 - ・個々の児童の支援計画策定と特別支援教育の推進とともに、全児童に対し障害者理解に立った教育を進める。

- (3) 体験を基盤としたかわりにより、「豊かな心」を育成する
 - ・体験を通してふるさとの人や自然・文化を学ぶ地域学習に積極的に取り組むことで、感性を磨くとともに、郷土に対する誇りを醸成する。
 - ・「道徳の日」を定めて心のノートを活用するなど道徳教育をさらに推進し、生命を尊重する心や社会生活上の規律や思いやりの心を育む。
 - ・個々の個性や技能を発揮する委員会活動やボランティア活動を通して、自分の役割の自覚や奉仕の精神を育む。

- (4) 体力づくりや健康・安全教育の推進により、「健やかな心と体」を育成する
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、生活リズムの確立と基本的生活習慣の定着化を図る。
 - ・食に関する指導を通して、好ましい人間関係や望ましい食習慣を育む。
 - ・心身の健康に関する興味関心を高め、健康保持や楽しい運動への実践的な取り組みを支援する。
 - ・自ら進んで運動に親しみ、運動能力の向上をめざす実践力の育成を図る。
 - ・「自分の命は自分で守る」ことの必要な事柄を実践的に理解し、自他の安全を確保する能力や態度を育てる。
 - ・危機管理マニュアルの実効性を高めるために、防災・防犯訓練等を継続して実践する。

- (5) 家庭・地域との連携を通して、信頼される学校づくりに努める。
 - ・学校・学年だより、保健だより、ホームページ等による積極的な情報発信により、説明責任を果たす。
 - ・アンケート調査や学校評価の実施と結果の公表を通して学校運営の改善を図る。
 - ・地域の人材活用や交流活動を通して、地域コミュニティとの連携を強化する。
 - ・PTA連絡システムの有効活用や地域安全パトロール等との連携を通して防犯対策を強化する。